



平成25年度 復興応援隊・地域支援員中間報告会 地区活動報告シート

①

石巻市中央地区復興応援隊

人数： 8 人

【テーマ】

住民主導による地域コミュニティの活性化
と市街地のまちなか創生



【主な活動】

1. 仮設住宅コミュニティの活性化
2. 住民主体の街づくりサポート
3. 情報発信による地域間交流促進



石巻市中央地区



石巻市中央地区復興応援隊

【今年度前期の3大ニュース】

① 仮設住宅自治連合推進会 行政との協働体制確立

- ・石巻仮設住宅自治連合推進会の総会が5月に開催。
→石巻市、石巻市社会福祉協議会、石巻市立病院、石巻警察署、石巻地区消防本部、石巻専修大学等の役員就任が実現。
- ・NPOの連絡会(石巻仮設支援連絡会)にも市の担当課が初参加。

② 中心市街地復興まちづくり勉強会の開催

街づくりの成功事例として有名な香川県高松市の丸亀町商店街の理事長をお招きし、復興街づくり勉強会を開催。

再開発事業など住民主体の復興街づくりをサポートする取り組みや、TMOやNPO等が中心となるソフト事業の仕掛けを考えながら、石巻バージョンのまちづくりに挑戦中。

③ 石巻観光協会Webサイトのリニューアル

- ・リニューアル支援を行ってきた石巻観光協会のHPが4月26日に公開。石巻観光協会の会員飲食店33店舗への取材、原稿作成や写真の編集、バナー作成等を実施。リニューアル後もサイト運営のサポート。
- ・語り部受け入れ:1,797名





石巻市中央地区復興応援隊

【未来の3大ニュース】

①復興公営住宅に関する聞き取り調査 完了

石巻自治連による復興公営住宅に関する聞き取り調査が完了。
「仮設住宅→復興住宅のシームレスな移転」、
「復興住宅と既存町内会の地域コミュニティづくり」
をサポートするための方策を、関係各機関と共に検討予定。

②「一人一人がつくる安全・安心のまちづくり」始動

「復興ビジョン」で復興まちづくりの土台と位置付けられる「安全安心」。
“川湊”として発展してきた石巻が、コミュニティで助け合う地域づくりと
コンパクトな街づくりを推進しつつ、被災体験に基づく新しい防災に強い
まちづくりモデルの構築を目指して活動。

③「いしのまき観光ガイドマップ」改訂版 完成

・多くの観光客や視察者が手にする「いしのまき観光ガイドマップ」
(石巻観光協会発行、初版2万部)の震災後改訂版が完成。

被災後変化した正確な情報、津波避難ビルなどの追加情報を掲載。

・震災の記憶を伝え、災害対応能力を高めるための施設活用、
語り部体験談「3.11のこと」書籍化。

石巻市中央地区



01 防災

一人一人がつくる安全安心プロジェクト

1. 防災を学ぶ、発信する場・機会
 - ・震災資料館の街なか整備 **行政主導**
 - ・防災まち歩き、お茶会の実施 **民間主導**
 - ・携帯アプリなどを活用した避難マップの作成 **協働**
 - ・防災サインのワークショップ **協働**
 2. 被災の経験を活かした防災の仕組み
 - ・「語り部」を通じた震災教訓の伝承 **民間主導**
 - ・有事にボランティアを派遣できる体制づくり **協働**
- ＜街なかでの展開イメージ＞



まずは街なかで避難できる場所を示す
(アイトピア商店街など)

